

一日でも一時間でも！高江のヘリパット建設をストップさせよう！！

2泊3日の沖縄行動の報告 2016. 8. 13

沖縄とつながろう会 湯村悦朋

7月30日千葉集会、7月31日東京集会、8月2日参議院会館などの集会で、沖縄からの報告で高江は緊迫した状況にある、機動隊800名が沖縄北部に待機中（東京、千葉、神奈川、愛知、大阪、福岡）、ぜひ高江に「一人でも多くの結集を」と呼びかけがあり、急遽三人が2泊3日の日程で参加する事になりました。

4日 名護泊（機動隊の動きはナシとの情報）

5日 AM6：00高江のN1裏に入る。建設用の道路予定地に200名収容のテントが設置され、24時間体制で監視行動を行っているとのこと。PM6：00から「ヘリパットいらない緊急全国集会」開催予定。キャンプシュワブのゲート前に向かう。沖縄平和市民連絡会の仲間と、新基地建設反対の抗議行動に参加。[MARINS OUT]のボードを持つての抗議、民間警備員と常駐機動隊と対峙する。

再び高江に向かい集会に参加。本集会前のテント内集会では作家の目取真俊氏などが挨拶。外での本集会では約1000名近くの仲間が結集し、山城博治氏の司会で進められ、高江住民の会の儀保昇氏が「オスプレイパッドはまだ造られていない。造られたとしても、使われなければ、やんばるの森は再生する」などと挨拶。また福島瑞穂（参）、赤嶺政賢（衆）、糸数慶子（参）の各議員などからも連帯の挨拶が述べられ、1000名の拍手が渦巻いた。最後に今日一日工事をストップさせた事を全体で確認し「ヘリパットいらない！建設ストップ！」のコールを三唱し終了した。今日は車中泊。

6日 AM6：00早朝集会で機動隊の動きナシ、8日以降が山場との報告。山本太郎（参）、三宅洋平の各氏などが挨拶。午後、後ろ髪が引かれる思いで帰途に向かう。途中で普天間基地の全景が見える「嘉数高台」に寄る。

- 1996年SACO報告（北部訓練場の一部返還、普天間返還など条件付き）
- 辺野古の新基地建設反対と高江ヘリパット建設反対は一体
- 2013年県と全市町村議会が反対決議
- 2014年島ぐるみ会議結成
- 4 沖縄の民意

- 衆、参、名護市長選、知事選の勝利（「島売安伊子」を落とせのコール、宜野湾市長選の敗北）
- 沖縄差別と自治権の戦い

- 5 高江の戦い

- N4の工事強行着工、「スラップ裁判」で15名起訴、1名有罪、ヘリパットは現在使用中
- N1、7/22ゲートを強行設置、8/8支援者の車を強制排除

以上